

6年	2	文字と式	組番 名前 ()
----	---	------	--------------

チェック ✓ 同じねだんのケーキ7個を40円の箱に入れることにしました。次の問題に答えましょう。

- ① ケーキのねだんを x 円、合計の代金を y 円として、 x と y の関係を式に表しましょう。
()
- ② ケーキのねだんが300円の時、合計の代金は何円になるか答えましょう。() 円
- ③ 合計の代金が2420円です。何円のケーキを買ったか答えましょう。() 円

問題

まほさんとゆうさんの学級では、学習発表会の^{てんじ}展示で、図工の時間にかいた絵を体育館にはることにしました。



画びょうで留める回数を少なくするために、工夫してはりたいな。

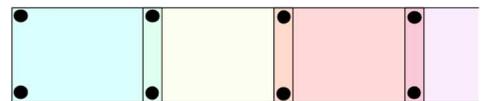


右のように一辺を重ねてはる方法はどうかな？



いいと思います。必要な画びょうの個数はいくつかな？

(●は画びょうの位置)

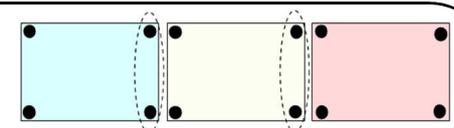


まほさんは、絵の枚数を a 枚としたときの画びょうの個数を求める式を考えました。



私は、 $4 \times a - 2 \times (a - 1)$ と考えました。

例えば、3枚で考えると、3枚をそれぞれはると、 4×3 (個) の画びょうが必要です。しかし、○の2個は重なっているの、画びょうは不要となります。ここで、○の数は、もとの枚数3枚より1少ないので、 $(3 - 1)$ と表せます。不要な画びょうは、 $2 \times (3 - 1)$ (個) です。だから、必要な画びょうの個数は、 $4 \times 3 - 2 \times (3 - 1)$ (個) です。実際は、 a 枚なので、 a を使って表すと、 $4 \times a - 2 \times (a - 1)$ となります。



まほさんの説明を聞いて、ゆうさんは次のように言っています。



ぼくは、 $2 \times a + 2$ と考えました。そのわけは、……

- (1) ゆうさんは、どのように考えて $2 \times a + 2$ の式をつかったか説明しましょう。

図を使ってもかまいません。

- (2) 画びょうの個数が98個の時、何枚の絵をはることができるか答えましょう。

() 枚